



学校のめあて

心豊かでたくましく

自ら学んで未来を創る

ぶどう狩り体験(4年総合的な学習の時間)

9月12日(火)4年生が、高瀬町産地形成促進施設ぶどう試験栽培室にて栽培したピオーネの収穫体験を行いました。このぶどうは、高瀬町農業経営者協議会の皆さんが管理し育ててくれたものです。

「色の黒いぶどうがおいしいよ」などと施設の人からアドバイスを受けながら、一つ一つ袋がけされたぶどうを丁寧に摘み取っていきました。

また、ぶどうの種類や栽培方法の説明では、枝を剪定したり、形のいいぶどうの実を育てるため粒を減らす摘粒(てきりゅう)という作業を行ったりすることを教わり、地元の特産品への理解を深めた1日となりました。



全校集会での校長のお話(9月12日)

これからの2学期の学習や生活で皆さんが大きく成長できるように、今日はカエルの話をします。カエルと言っても、理科で学習する「アマガエル」や「トノサマガエル」の種類や生態についての話ではなく、皆さんの成長につながる「3匹のカエル」のお話です。

1匹目は、「まちガエル」です。「まちがえる」ことが得意だというと、「まちがえてばかりではダメ。」と言われるかもしれません。しかし、一度まちがえれば、次からは気をつけることができるし、まちがえを怖がってばかりいたのでは、何もできなくなってしまいます。「まちがえる」ということは、何かをトライしたという証明でもあるから、決して恥ずかしがることはありません。授業中の発表も同じです。

2匹目は、間違えたことを直す「かんガエル」です。勉強するときはもちろん、友だちと遊んでいるときやゲームをしているときも、頭を使って考えています。特にうまくいかなかったとき、「どこを間違えたかな?どうして間違えたかな?どうしたら間違えないかな?」と深く考えます。人間は「かんがえる」経験を積むほど、判断する力がついたり、アイデアがひらめいたりするのです。「かんがえる」習慣を身につけましょう。

たくさんたくさん考えたらやがて、3匹目のカエル「みちガエル」になります。間違いをチャンスにした人は、「まちがえる」人になっていくのです。見違えるというのは、すっかり変わって格好よくなること。成長して「びっくり、今までと違う!」だから見違えるのです。

このように、「間違えて、考えて、見違える」、このことができたならそれが成長なのです。だから、間違えることを恐れず、授業でもどんどん発表してみましょ。そして、周りの人も、間違えたことを笑ったり、ばかにしたりしてはいけません。周りの温かい思いやりも大切です。みんなで、間違えたら、考える、考えたら、見違える。このようにして成長していきましょう。

2学期の学習や生活で、間違えた時に、「成長のチャンス」と思って、次の行動につなげましょう。